久留米西高等学校　年間授業計画

令和６年度（２学年用）　教科　芸術　科目　音楽Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　3 組～　6 組

教科担当者：清水真優

使用教科書：（ MOUSA2（ 教育芸術社 ）　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　・　技　能 】音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組む。

【思考力・判断力・表現力】　曲にふさわしい表現を創意工夫しながら演奏する。

【主体的に学習に取り組む態度】　曲の成立背景や構成などに興味をもち、主体的に学習活動に取り組む。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組んでいる。 ②音名やリズムを正確に理解して演奏する。	①曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏している。 ②より良い演奏を追求し、発声や体の使い方を工夫して演奏することができる。	①曲の成立背景や構成などに興味をもち、主体的に学習に取り組んでいる。 ②周りの人と協力しながら演奏活動に意欲的に取り組むことができる。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当時数
		歌	器	創						
1学期	歌唱	○				○発声練習に取り組み、美しい声で歌う。 ○「ハナミズキ」「糸」の音取りをして、旋律を歌う。 ○合唱曲に取り組み、他のパートと合わせて歌う。	○		○	8
	ボディー・パーカッション		○	○		○音符の長さを復習し、リズム打ちをする。 ○4分音符と8分音符の長さの違いを意識し、リズム打ちをする。 ○グループ内で２つのパートに分かれ、合わせて演奏する。 ○曲想を感じ取り、強弱記号や速度を工夫して演奏する。 ○グループごとに演奏方法を工夫し、発表を行う。		○	○	6
	楽典				○	○ヘ音譜表の読み方を復習し、楽譜に音名を記入する。 ○変化記号の復習をし、変化記号が付いたときにどの鍵盤を弾くのか理解する。 ○調号と拍子を復習し、何拍子の曲かを楽譜を見て判断する。 ○調号と変化記号の意味を理解する。	○		○	4
	ピアノ演奏	○			○	○右手・左手をそれぞれ練習し、旋律を覚える。 ○課題曲を両手で演奏する。 ○フレーズを意識し、旋律をつなげて演奏する。 ○ピアノ曲を鑑賞し、時代による作曲技法の違いやピアノの歴史を理解する。	○		○	8
2学期	歌唱	○				○発声練習をして、伸びのある声で歌う。 ○合唱曲の音取りをして、自分のパートの旋律を歌う。 ○伴奏と指揮者を決め、混声三部合唱を行う。	○		○	14
	グループアンサンブル		○	○	○	○グループごとに演奏曲を決め、パートを割り振りする。 ○個人練習をして、各パートの音取りをする。 ○曲の前半部分をグループで合わせて演奏する。 ○中間発表を行い、自己のグループの演奏を振り返り、課題を把握する。 ○演奏会を行い、他のグループの演奏を聴いて感想をまとめる。	○	○	○	14
3学期	器楽		○	○		○ギターで弾き歌いをする。 ○ピアノ連弾で「メリーさんのひつじ」を練習する。	○		○	8
	鑑賞		○		○	○ジャズの歴史を学ぶ。 ○ロックの歴史を学ぶ。		○	○	8

久留米西高等学校　年間授業計画

令和６年度（２学年用）　　教科　美術　　科目　美術Ⅱ

教　科：　美術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　4 組～　6 組

教科担当者：　関谷　美保子

使用教科書：　（　高校生の美術２（日本文教出版 ）　　）

教科　美術　　の目標：

【 知　識　・　技　能 】 美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。

【思考力・判断力・表現力】　画材にふさわしい表現で作品をつくる。自ら思考・判断・表現することを目指す。

【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。 ②画材や道具の特性を理解し、作品制作に生かす。	①画材にふさわしい表現で作品をつくる。 ②自ら思考・判断・表現する。	①基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。 ②工夫を凝らし、自分の表現を追求する。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当時数
		絵・彫	デ	映						
1学期	透明水彩	○			○	○透明水彩の濃淡の作り方、筆の使い方を学ぶ。	○	○	○	12
	校内外写生	○			○	○透明水彩で学校内、屋外を写生する。	○	○	○	12
2学期	校内外写生	○			○	○透明水彩で学校内、屋外を写生する。	○	○	○	20
	ペーパークラフト		○		○	○ハサミ・カッター・定規などを使って、立体カードを作成する。	○	○	○	10
3学期	ペーパークラフト		○		○	○ハサミ・カッター・定規などを使って、立体カードを作成する。	○	○	○	16

久留米西高等学校　年間授業計画

令和６年度　２学年　　教科　工芸　　科目　工芸Ⅱ

教　科：　工芸　　科　目：　工芸Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

教科担当者：松村　世津子

使用教科書：（ 工芸Ⅱ（日本文教出版）　　）

教科　工芸　　の目標：

【 知　識　・　技　能 】素材の特性 、制作技法の理論を理解し、制作に必要な技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力】　理解と理論的な根拠を持って、制作を進める。

【主体的に学習に取り組む態度】創意工夫をし、より完成度の高い作品を目指す。

科目　工芸Ⅱ　　の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
クラフトバンドの編み方の基本を習得、習熟し、意図した表現ができるようにする。	クラフトバンドの性質を生かし、編み方を理解し、理論的根拠に基づいて制作をする。	創意工夫をし、より完成度の高い作品を目指す。

	単元	表現		鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当時数
		身	社						
1学期	クラフトバンド工芸（基本）	○			・紙テープの編み方の基本を習得しながら、課題の作品(マルシェバッグ）を編む。 ・必要なテープの長さや本数を計算して切り分ける。 ・基本技法（角底、３本なわ編み、追いかけ編み、取っ手）を習得する。 ①角底の接着、編み込み ②丸底の編み込み ③差しヒモ ④追いかけ編み ⑤ねじり編み ⑥３本縄編み ⑦取っ手	○	○	○	26
2学期	クラフトバンド工芸（応用）	○			・完成度の高い作品をめざし、配色や編み方を工夫する。	○	○	○	30
3学期	収納の設計	○	○	○	・机の周辺で使用するものの収納家具を設計する。 ・ダンボールで試作品を作る。 ・スペースを有効に使い、取り出しやすさを考えて工夫をする。	○	○	○	14

久留米西高等学校　年間授業計画

令和５年度（２学年用）　教科　書道　科目　書道Ⅱ

教　科：　書道　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　4 組～　6 組

教科担当者：　大橋則子

使用教科書：　（　書Ⅱ（教育図書）　　）

教科　書道　　の目標：

【知　識　・　技　能】　日本と中国の文字の伝統と文化・書体の変遷を理解する。

【思考力・判断力・表現力】　古典の価値について考え、筆脈の感覚・書風の特徴を判断して筆者の個性を表現する。

【主体的に学習に取り組む態度】　作品を鑑賞し、書の変遷に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
・日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ・各書体特有の字形・線・質について理解する。	・古典の価値について考え、書のよさを味わう。 ・味わった美しさ・感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。	・作品を鑑賞し、書の変遷や文化に関心をもち、表現において意欲的に取り組む。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当時数
		漢仮	漢	仮						
1学期	・書と文化 書の周辺の文化の歴史 ・漢字の書 篆書 「泰山刻石」		○		○	・書の歴史の全体の流れを理解する。 ・日常の書を意識する。 ・甲骨文、金文の特徴を理解する。 ・篆書の基本点画や線質の表し方を学ぶ。 ・始皇帝について知る。	○	○	○	4
	「石鼓文」 ・篆刻		○		○	・印の歴史と用途を理解する。 ・「印稿」を作る。 ・字典で文字を正確に調べる。 ・調べた字と全体の構成を工夫する。 ・「布字」 印面に印稿と同じように書く。 ・「連刀」「押印」「仕上げ」	○	○		6
	・隷書 「曹全碑」 「乙瑛碑」		○		○	・隷書の変遷を学ぶ。 ・隷書の基本点画が書ける。 ・のびのびとした八分になる。 ・飄々としながらも力強い線になるようにする。 ・漢、清の隷書と比較する。 ・厚みのある波磔を捉える。 ・字形は背勢で引き締まった字形にする。	○	○		4
	「石門頌」 「居延漢簡」		○		○	・線の太さがほぼ一定で曲線が多い。 ・波勢のリズムによって細いまま払い出す。 ・筆鋒の開閉が自在で細太の変化を知る。 ・ゆったりした波磔や表情のおおらかさを表す。 ・早速きによる自然な表現。	○	○		4
	・創作				○	・半切作品を制作する。 ・隷書の表現を生かす。 ・作品の形式について学ぶ。		○	○	6
2学期	・草書 「十七帖」 「書譜」		○		○	・草書の成立を理解する。 ・草書の基本的用筆、運筆を理解する。 ・単体で字を覚える。 ・字形は頭部を大きく、脚部を右に移動させてバランスを取る。 ・変化に富んだ線、格調の高さを理解する。 ・臨書や鑑賞に取り組む。 ・書論の内容を知る。	○	○		4
	「自叙帖」 「風信帖」 (忽恵帖)		○		○	・狂草とも呼ばれる奔放な表現ができる。 ・日本の書について ・王羲之の流れを理解する。 ・三筆について理解する。	○		○	4
	・行書 「集王聖教序」 「温泉銘」 「祭姪文稿」		○		○	・行書のさまざまな作品を鑑賞する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆、運筆を理解する。 ・表現方法に関心を持って、のびのびと抑揚のある線にする。 ・草稿であるために感情を汲み取る。 ・筆画に重厚で力強さを強調する。 ・鑑賞の学習に取り組み、表現できるように努力する。	○	○		6
	「黄州寒食詩巻跋」									

	「伊都内親王願文」 「屏風土代」		○		○	・宋の四大家について知る。 ・本文の文字がもともと大きいので表現のしやすさが分かる。 ・三跡と比較して相違点を考える。 ・祈願状について知る。 ・草稿であるための構想を理解する。 ・大きく端正な字形を重厚な線質になるようにする。	○	○		6
	・楷書 「孟法師碑」 「真草千字文」 「張猛龍碑」 「始平公造像記」		○		○	・書風の特徴を理解する。 ・「雁塔聖教序」と比較する。 ・抑揚のある筆使いができるようにする。 ・表現技法に関心を持つ。 ・北魏の楷書の特徴を捉える。 ・用筆、運筆を理解する。 ・鋭く角張った線が書けるようになる。 ・陽刻について理解する。	○	○		8
3学期	「さん宝子碑」 「薦季直表」 ・仮名 「高野切第一種」			○	○	・書法に隷書があり過渡期であることを知る。 ・鍾繇と王羲之は楷書の進展に大きく貢献したことを知る。 ・王羲之と比較して暖かみのある楷書になるよう表現してみる。 ・仮名の変遷を理解する。 ・字形の特徴を理解する。 ・書かれた時代や背景を理解する。 ・端正で自然な墨継ぎができるようにする。	○	○		6
	「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 ・散らし書き 「寸松庵色紙」	○		○	○	・全体の流れや気品の良さを感じる。 ・墨継ぎが明快で美しい。 ・線質や字形の特徴を理解する。 ・書かれた背景や内容を知る。 ・書風を生かした表現を工夫する。 ・散らし書きの表現技法を理解する。 ・全体の構成を工夫する。	○	○		8
	「継色紙」 ・創作	○		○		・日本人の美意識を理解する。（紙面構成） ・個性的な表現について考える。 ・運筆の遅速の変化・筆圧の強弱・墨量の変化。 ・表現の構成を工夫し、完成する。		○	○	4